

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【敬和学園大学】

<教育課程審査>

- ① 授業科目「英語科教科教育法1・2」、「英語教育学概論」、「英語教材研究論」のシラバスについて、高校の学習指導要領をテキストに含めること。

| | |
|-------|--|
| (対応)→ | ご意見のとおり、授業科目「英語科教科教育法1・2」、「英語教育学概論」、「英語教材研究論」のシラバスについて、高校の学習指導要領をテキストに含めました。(p27、29、31、33) |
|-------|--|

- ② 授業科目「特別支援教育概論」のシラバスについて、コアカリキュラムに定める到達目標(2)2)の自立活動の内容が含まれていることが判然としないため、授業計画において明確化すること。

| | |
|-------|--|
| (対応)→ | 授業科目「特別支援教育概論」のシラバスについて、コアカリキュラムに定める到達目標(2)2)の自立活動の内容が含まれていることが判るよう、授業計画を明確化しました。(p34) |
|-------|--|

- ③ 授業科目「教育の方法・技術とICTの活用」のシラバスについて、教育方法のコアカリキュラムに定める到達目標(1)の内容が含まれていることが判然としないため、授業計画において明確化すること。

| | |
|-------|--|
| (対応)→ | 授業科目「教育の方法・技術とICTの活用」のシラバスについて、教育方法のコアカリキュラムに定める到達目標(1)の内容が含まれていることが判るよう、授業計画を明確化しました。(p35、36) |
|-------|--|

- ④ 授業科目「教育の方法・技術とICTの活用」について、コアカリキュラム対応表が誤っている。「教育の方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の二つに分けてコアカリキュラム対応表を作成し、シラバスの内容とコアカリキュラム対応表の内容が対応しているか確認する

こと。併せて、「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」が1単位相当含まれているか、授業計画において明確化すること。

| | |
|-------|---|
| (対応)→ | 授業科目「教育の方法・技術とICTの活用」について、コアカリキュラム対応表が誤っていたため、「教育の方法及び技術」と「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の二つに分けてコアカリキュラム対応表を作成しました。(p15、18)その上で、シラバスの内容とコアカリキュラム対応表の内容を対応させました。併せて、「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」が1単位相当含まれているよう、授業計画において明確化しました。(p25、36) |
|-------|---|

⑤ 授業科目「生徒・進路指導論」について、「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」のコアカリキュラム対応表を作成すること。

| | |
|-------|---|
| (対応)→ | 授業科目「生徒・進路指導論」について、「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」のコアカリキュラム対応表を作成しました。(p17、37、38) |
|-------|---|